

令和2年度 大洲市がんばるひと応援事業【実績報告】

(単位：円)

整理番号	事業名	団体名	年数	事業概要	補助金 交付決定額	補助金 交付実績額	事業の実績	事業の効果	今後の取組方針
1	肱川町の農産品と観光開発による地域活性化事業	肱川プロジェクト	継続 (3年目)	<p>現在、大洲市肱川町では就労世代の都市部への流出、少子化等の影響により地域住民の活力低下、主要な産業である農林業の担い手不足等、様々な問題を抱えている。そこで、町内の様々な課題解決の為に、肱川町内に存在しているであろう様々な資源を掘り起こし、その利活用を計画し、肱川町の未来に向けてより良い活動を行っていく為、有志による肱川町活性化組織「肱川プロジェクト」を平成30年3月に結成し活動を開始した。</p> <p>今回、主に町内農産品等を使用した特産品を開発することにより生産者の意欲向上と農産品の消費の拡大を目的とした「特産品開発」、地域資源を利活用することにより交流人口の増加を図る為の「観光開発」を強く推進し進める為、当事業を計画実施することにより、肱川町の地域活性化を図りたい。</p> <p>今年度は、トマト、クワ、シイタケ、タケノコ、炭を利活用した新たな特産品の開発を行う。また、町内の景勝地や観光地、お店などをPRするためのパンフレット作成及び肱川かるたの作成と大会を実施する。</p>	1,327,000	1,040,000	<p>新たな特産品開発では、地物サツマイモを使ったパウンドケーキを手土産として販売できるように、製品の開発、包装紙のデザインまで試作した。また、ヒジカワトーチとして、間伐材等からトーチの加工し、ネーム、タグ等を付けて肱川ブランドの様に製品化し販売できるまで商品化した。</p> <p>昨年、商品化したトマチーズケーキを道の駅の商品として、4月から11月までの期間に1079個を販売した。これまでの1個売りからホールで販売ができるようブラッシュアップした。</p> <p>ジャンボかるたは、初版の32枚から7枚を追加した。通常サイズのかるたも15組作成した。</p> <p>観光開発では、鹿野川ダム湖とその周辺の観光整備計画として、ジップラインの導入を目玉とするため、県外視察や四国内の先進地からの情報収集や検討を行い、市に提言書を提出した。肱川町のガイドマップは、来町者向けに制作し、主要観光施設や掲載店舗に配布した。</p>	<p>ジャンボかるたを増刷したことにより、より肱川町の歴史や景勝地、特産品などを地元の学生に紹介することができる。</p> <p>前年度完成したトマチーズケーキが、4月から11月まで開催の「奥伊予七駅スタンプラリー」の今年度の道の駅ひじかわの商品として採用され、肱川のトマチを使ったスイーツを多くの方に食べていただき、広く周知することができた。また、トマチーズケーキのブラッシュアップの一つとして、贈答用もでき、今後は肱川町の文楽最中に次ぐ手土産品としての購買が期待できる。</p> <p>肱川町観光マップは、肱川を訪れた方に使ってもらうのにとっても便利なマップとなっており、肱川町を周遊していただけることが期待できる。</p> <p>試作品として、まずヒジカワトーチがコロナ禍によるキャンプブームの中、大洲家族旅行村にて販売していただき、好評を得ている。また、地物サツマイモを使ったシフォンケーキを開発することができ、新たな商品化に向けて意欲が高まった。</p>	<p>今年度は、新型コロナウイルス感染症の関係で、ジャンボかるた大会の実施ができなかったが、増刷はできたので、来年度から毎年開催し、肱川町の歴史等を継承していきたい。</p> <p>また、トマチーズケーキの販売を継続するとともに、新規商品の開発にも取り組み、販売ができるように商品化させたい。</p> <p>今後は、プロジェクトのメンバーが製造を引き継ぎ、道の駅での販売と、町内のレストランでのメニューとして展開していきます。</p>
2	肱川あらし展望公園を発展させる事業	クオンタセブン	継続 (3年目)	<p>黒田地区は、ひと世代前の子供人口はかなり多かったが、現在は限界集落になりつつあり、近年、親世代、子ども世代も黒田を見放してしまっている。黒田地区を桃源郷のような魅力ある地域にすることが出来たら、子孫達はもちろん外部の方が訪ねてみたい、住んでみたい場所となる。黒田の斜面は長浜沖や青島（ねこの島）の船の復路からよく見えるので、肱川あらし展望台までの道路沿いに桃など植樹し、桃源郷をおもわせるような地域にしたい。自身も大阪から移住して来た。移住者であるからこそ分かる事や発見できる事がある。黒田地区は、まだまだ改善発展することができる地域である。しかし、肱川あらし展望公園付近は、近年、家電や生活ごみを放置するなど不法投棄が増え、一因として、公園への来場者が少なく人影がないという事も原因の一つと思われる。まずは、沿道の放置された畑に桜・花桃等の木を植える事も公園を発展させ、魅力のある公園周辺にしたい。</p>	1,443,000	1,443,000	<p>昨年、肱川あらし展望公園付近の道路下の雑木等を伐採したことで、伊予灘や長浜の町並みを一望することができるようになり、「ジオラマ風景と紅マドンナ色の夕日が見える丘」として、継続的にPR活動を行うとともに、ラベンダー畑の手入れも行った。</p> <p>ラベンダーアレンジスペース施設の改修を行い、ラベンダーを活用した商品開発や体験教室を実施した。商品開発では、お香や蒸留水、入浴剤、消臭剤などの試作品が完成した。また、体験教室は新型コロナウイルス感染症の影響により、花摘みイベントは実施したが、リースやスティックづくりの体験教室は実施できなかった。ただ、ボランティアを対象として、フラワーアレンジメントの講師を招き、リースづくりなどの講習会を実施した。</p>	<p>「ジオラマ風景と紅マドンナ色の夕日が見える丘」という新しいPRにより、肱川あらし展望公園から肱川あらしの撮影者や観光客が増えている。</p> <p>ラベンダーアレンジスペース施設を改修したことで、商品開発や体験教室が可能となり、ラベンダーを活用した試作品を完成させることができた。その中の一つにお香の煙がカメムシの駆除に効果があることが確認できた。また、ラベンダーに抗ストレス作用や鎮静作用などの効能があり、入浴剤や消臭剤など様々な種類の商品化の取組みにつながった。</p>	<p>ラベンダー畑や「ジオラマ風景と紅マドンナ色の夕日が見える丘」のPR活動を引き続き実施するとともに、花摘みイベントやリースづくり等の体験教室を実施することで、黒田地区を訪れる人を増やし、地域の活性化につなげたい。</p> <p>また、引き続き、商品開発を行い、地域に還元できるような地域のブランドづくりを進めていきたい。</p>
	合計				2,770,000	2,483,000			